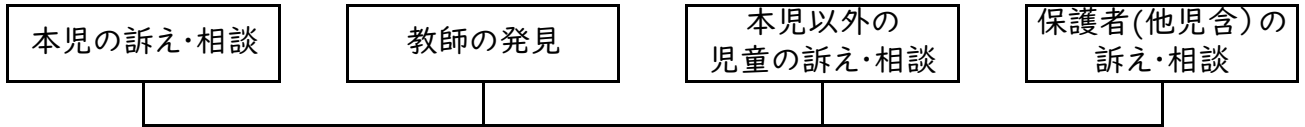
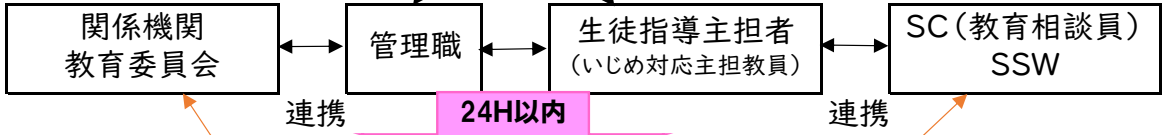


# 青山台小学校 いじめ事案対応フロー図



いじめ(疑い含む)の把握

スピーディーに必ず報告

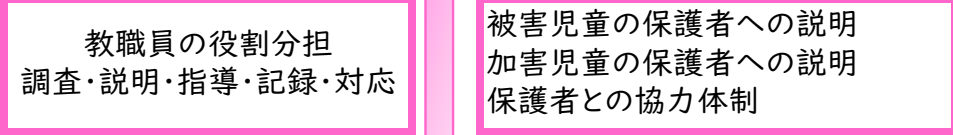


この時点より総指揮校長  
**いじめ対策委員会 (管理職・生徒指導主担者・担任・学年団)**  
 委員長は生徒指導主担者

事実関係の把握      いじめの判断      指導方針の確認

- ①被害の態様と状況 (暴力・言葉・時・場所・人数等)
  - ②集団の構造(被害・加害・傍観)
  - ③いじめの動機、背景
  - ④被害児童の様子
  - ⑤加害児童の様子(他の問題行動)
- ①人権侵害であるという視点
  - ②被害児童(保護者)の痛みを共感
  - ③いじめの背景を分析
  - ④場合によっては集団全体への指導
  - ⑤対処療法に終わらせない

全教職員へ周知・共通理解  
 (場合によって全教職員で対応)



被害児童への対応・支援	加害児童への対応・指導	他の児童への対応と指導	全体への対応と指導
・複数の教員で対応 ・十分な聞き取りと記録 ・心理的な配慮と安心感 ・継続的な見守り	・複数の教員で対応 ・複数加害の場合、個別の聞き取りと記録とつきあわせ ・課題克服させるための援助 ・継続的な指導	・目撃した児童がいた場合聞き取り記録とつきあわせ	・いじめ防止授業 ・アンケート

解消までは最低3ヶ月

